

【都市の環境】令和3年以降の新設スペース

2021年度後半以降も、民間のスタートアップインキュベーション施設や、新価値を創造する施設の開設など、京都でのイノベーションに寄与する施設が新設。

①【梅小路まちづくりラボ（※1）】 Umekoji MArKEt（前ページ ⑥）

再開発の進む「梅小路京都西駅エリア（※2）」において、モノづくり、アート、食をキーワードに、未来志向でエリアのクリエイティブタウン化を推進することで、グローバルに通用するモノづくり産業の育成、未来志向での京都の食文化の発信、市民生活と調和し地域文化を育てる観光業の育成、地域の次世代を育むまちづくりなどの一翼を担っている。

【入居企業】

DMG森精機(株)、(一社) 京都試作ネット、(株)Monozukuri Ventures、
COS KYOTO (株)、(株)梅小路まちづくりラボ、京都信用金庫

※1 梅小路京都西駅エリアのクリエイティブタウン化推進のため、2021年3月にモノづくり、アート、食関連の地域企業や金融機関など計14者が株主となって事業開始。

※2 京都市下京区に立地する京都市中央卸売市場と市場場外周辺、梅小路公園周辺、京都リサーチパーク地区を中心としたエリア



②【Re:Vive】京町家（前ページ ⑬）

関西のU29アクセラRe:Viveの代表が開設した居住機能を持ったコワーキング兼コミュニティースペース。10代～20代の起業家が中心に入居。
京都のみでなく全国から人が集まっている。



「Kyoto Startup Homebase」
府内のインキュベーション施設・コワーキング施設の情報を一元的に発信するポータルサイト



▲ 50施設掲載（R4.6.10時点）